

県内各地で、もみじが見頃を迎えています。4つの記事にメインの見出しをそれぞれ10文字くらいで付けてみましょう

なまえ【 】

NI Eワークシート／中学校～高校・国語



豊岡・安国寺

彩前線

豊岡市但東町相田の安国寺で7日、本堂裏のドウダンツツジの公開が始まった。深紅になる見頃は今週末の見込み。

樹齢160年以上とされ、裏山の斜面から垂れ落ちるように広がる枝葉は縦横約10メートルに及ぶ。本堂から眺めると、紅葉が額に納まった絵画のよう。日が差すと豊がほんのりと赤く染まった。

この日も全国から多くの来場者でにぎわった。真田宗純住職(55)は「最近はや暖差が激しくなり、緑の部分もすぐに赤くなりそうだ」と話している。

22日まで(平日のみ)。午前8時～午後5時(入門は午後4時半まで)。拝観料は高校生以上500円。但東シルクロード観光協会☎0796・54・0500(丸山桃奈)

秋が深まり、日ごとに鮮やかさを増す紅葉。兵庫県内の見どころを巡ります。

(随時掲載します)

町相田 本堂裏に広がるドウダンツツジの紅葉 17日午後、豊岡市但東



動画は
コチラ

豊岡・有子山城跡

豊岡市出石町の有子山城跡（標高321メートル）に、1本の紅葉樹がそびえ立つ。どこまでも続く雲海との競演が見どころだ。

彩前線

さらに紅葉を際立たせるのは、360度に広がる雲海だ。冷え込んだ朝に本郭を訪れると、同市城崎町の来日岳やスキー場などがある神鍋方面までが白一色に覆われる。時間の経過とともに、雲の切れ間から城下町を望むことができた。

（丸山桃奈）



紅葉樹と雲海、城下町の眺望を楽しめる有子山城跡＝豊岡市出石町

彩前線

三木山森林公園



鮮やかさを増すモミジバフウを背に遊ぶ子どもたち
＝三木市福井、兵庫県立三木山森林公園

赤や黄に色づいた木々を背に、子どもたちが駆け回る。三木市の三木山森林公園で、モミジバフウの並木が錦秋を迎え、燃えるような色彩に染まっている。

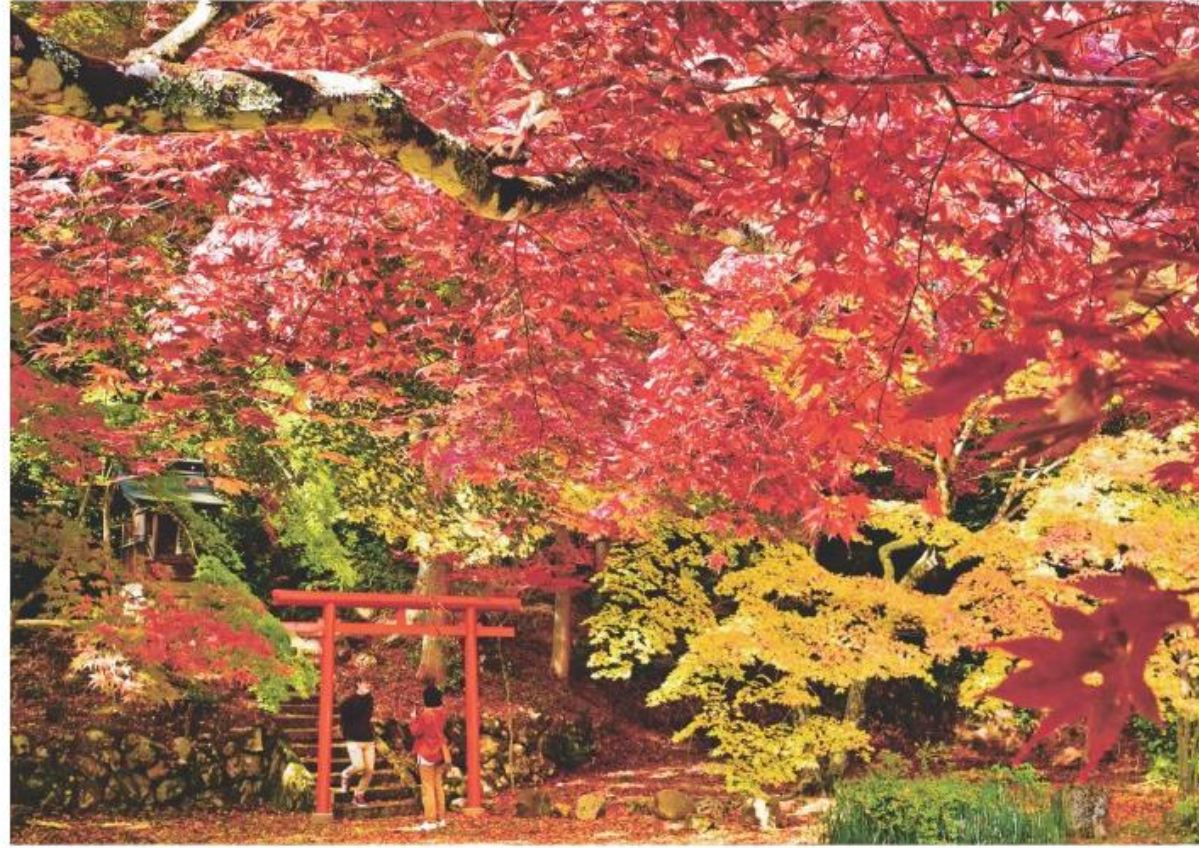
甲子園球場の20倍の広さを誇る同園は昭和30年代の里山環境を復元しようと整備され、1993年に本格オープンした。イベント広場には約150坪の園路に沿

って41本のモミジバフウが並ぶ。

名前の通り葉の形がモミジ（ムクロジ科）に似ているが、フウ科の落葉高木。今季は10月下旬から紅葉し始め、今月初旬に見頃を迎えた。色鮮やかな景色は今月半ばごろまで楽しめそうだという。

午前9時～午後9時。水曜休園。同園 ☎ 0794・833・6100 （吉田敦史）

稲荷社前で赤や黄に色づいたモミジ=丹波篠山市東本荘、洞光寺



彩前線

丹波篠山・洞光寺

階段を上り山門をくぐる
と、赤や黄の葉が織りなす
世界が一面に広がる。丹波
篠山市東本荘の洞光寺で
は、イチヨウの落葉とモミ
ジの共演が見られる。

同寺は南北朝時代後期の
1374年に創建された古
刹。境内では50本以上のモ
ミジと3本のイチヨウが葉
を広げ、名所として県内外
から観光客が訪れる。

同寺によると、今年は11
月上旬に紅葉が始まった。
イチヨウはモミジより落葉
が早く、舞い落ちた葉がじ
ゆうたんのように足元を彩
る。池に映り込む「逆さモ
ミジ」も楽しめ、境内の稲
荷社前も人気の撮影スポッ
トになっている。

毎年家族と訪れるという
神戸市西区の中川絹代さん
(61)は「紅葉の鮮やかさと
境内の静けさに心が癒やさ
れる」と錦秋を堪能してい
た。見頃は今月下旬まで。
同寺 ☎079・556・2
149
(坂井萌香)